

富産建第 306 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長様

岐阜県加茂郡富加町長
坂井弘道



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け 国道企第37号で依頼のあった件について、別紙のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岐阜県富加町

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・高規格道路にアクセスする国道、県道、町道の優先的な財源の投入

富加町・・・県道関金山線交差点改良・大平賀富加停車場線拡幅・町道滝田69号線拡幅

- ・災害時における緊急輸送道路の位置づけを明確にして、橋梁の耐震補強及び道路整備に対し優先的な財源の投入

富加町・・・津保川大橋、川浦川新橋の耐震補強・町道滝田69号線拡幅

- ・生活環境道路としての歩道の設置、中でも通学路の歩道整備に対する優先的な財源の投入

富加町・・・町道滝田69号線歩道の設置・県道富加坂祝線歩道の設置

- ・主要幹線道路へのアクセス道路の整備に対し優先的な財源の投入

富加町・・・国道248号への2車線道路の整備・国道21号、248号バイパスへのアクセス道の整備

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・これからの地域特性（基盤整備が不可欠な地域）を考えた道路網計画の策定が必要である。

富加町・・・工場等の進出が多く計画されている。

国道248号、富加関ICへのアクセス道路の早急な整備

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ロードプレーヤーの積極的な展開
- ・町道の維持管理費の負担増に伴う支援

○評価の手法などの提案

- ・費用対効果のみならず、地域は年々状況が変化している。地域の将来像を適格に把握し、歩行者・車両が安全安心に通行できる道路計画が必要と考える。
- ・災害に強い道路及び道路網・幹線道路とのアクセス・地域における需要推計（将来交通量及び車種別交通量予測）を含めた事業推進をお願いしたい。

○現状 ・富加町は、中心となる縦断幹線道路が無く東海環状自動車道、国道21号、国道248号バイパスへのアクセスに少なからず交通障害を住民のみなさんが思っています。	○課題 ・幹線道路網計画に基づく、アクセス道路の建設に多額な経費が必要となりますが、財政を圧迫するような事業は現在出来ない状況である。
・国道418号が富加町内においては、完了したものの西側では、既存のままで、測量調査の状況と聞いております。	・通勤通学の時間帯は、渋滞があり危険な状況であり、早期開通をお願いしたい。
・富加町は、近年東海環状自動車道が開通し企業の進出も見られ今後、さらに企業の進出が予想され、現在でも幹線道路を通行する大型車両が激増した。	・歩道設置、道路改良や交差点改良が必要となっている。さらに、交通量の増加に伴い路面の損傷が多くなっており修繕費が増加し、財政を圧迫している。

②ー 2 地域の目指すべき将来像

岐阜県富加町

- 住民が望む快適で、いきいきと、安全で安心なまちづくりを目指すため、高規格道路に合わせた幹線道路、生活道路の計画的な整備に取り組み、幹線道路は近隣自治体も含めた道路交通のネットワーク化を図るとともに、歩道設置、交差点改良、拡幅を促進していく必要があります。
- 国県道は、東海環状自動車道へのアクセス道路として改良が推進されていますが未改良箇所が残っており、歩道や交差点改良も含めた早期改良の促進に努めるとともに、国県道へのアクセス道路、生活に密着した重要な道路としての橋の補強や路面改修に努めるなど、災害に強い安心・安全な道路づくりをする必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岐阜県富加町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、利便性の向上	国道418号バイパス（富加町工区）事業（平成17年3月竣工）	富加町の中心市街地を横断する主要道路として、近隣市及び東海環状自動車道への交通アクセスが短縮され通過交通及び住民の利用が竣工前と比べ多大となっている。 大手スーパーなどの進出が予定されており、地域住民にとって、生活環境の向上が見込まれている。	当町では、初めての無電柱化道路として、景観が良く住民が体力づくり（ジョギング等）の場として多くの住民が、有効に利用されている。 また、周辺住民の団体は、ロードプレーヤーとして、管理をされているため、環境美化にも一役を担って頂いている。